

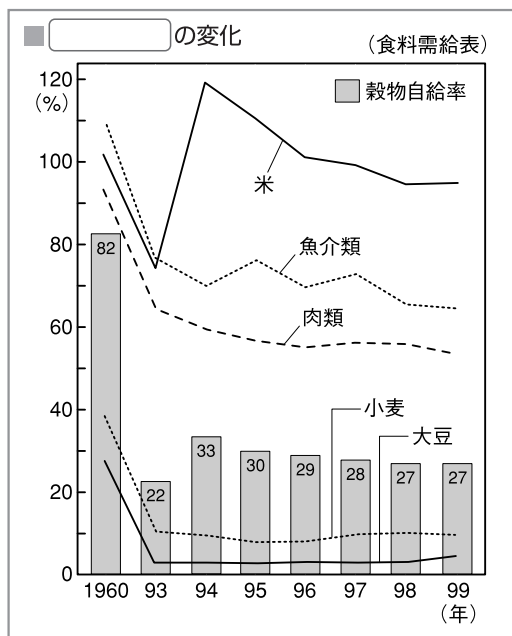
1 わたしたちの生活と現代社会

● 経済成長と大量消費

- 1950年代後半からの、日本の急速な経済成長を、① という。
- 大量生産、大量消費により、公害やごみ処理問題などの② 問題が起こってきた。
- 製品の開発にあたっては、③ や資源の④ を考えることが、より重要になっている。

● 食生活と生活の変化

- 日本の⑤ は年々低下し、なかでも穀物自給率は、1960年ごろには80%を超えていたが、1990年代後半には、⑥ %以下にまで落ちこんだ。
- 1980年代には、⑦ が採用されはじめ、余暇時間が増えた。海外旅行者が急増するなど、余暇の過ごし方は大きく変化した。
- ⑧ 社会の到来により、子どもや高齢者の生活も大きく変化した。
- 国民の生活が向上し、「もの」よりも「⑨ 」を売る⑨ 産業が発達してきた。
- 社会に進出して働く⑩ が増えているが、まだ、雇用や賃金、昇進などで、⑪ よりも不利な面が多い。



● 情報社会

- 20世紀は、新聞・雑誌・ラジオ・テレビなどの⑫ が急速に発達した世紀であった。
- 1990年代には、ワープロ、パソコンが普及し、⑬ が発達した。
- 現代のような情報があふれる⑭ 社会では、情報の⑮ がより重要になっている。

● 国際化と日本

- ⑯ とは、人やもの、情報が国境を越えて行きかい、交流がさかんになることである。
- 人々の国家間の移動などにより、世界の多くの国々では、さまざまな人や文化が共存する⑰ 社会ができている。このような現象を「⑱ 」という。
- ⑰ 社会では、お互いの文化を尊重し合い、協力し合う⑲ 社会をつくることが求められている。